

平成27年度 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会
第5回検討会での質問に対する回答について

第5回検討会における傍聴者の方々からのご質問についてお答えします。

○質問－1

当初片側2車線道路の計画で、交通台数を予測していたのではないのでしょうか？将来、もう1本橋を架ける計画はありますか？

◆回答－1

弊社では、高速自動車国道法に定められている整備計画に基づき2車線として事業を進めているところであり、計画交通量についても2車線としています。

4車線化については、開通後の利用交通量や交通渋滞・事故等の交通状況等を総合的に勘案して検討していくこととなります。

○質問－2

工事中の影響があった場合は、いつ、どこで、判断し、対応策を考えるのですか？何無責任にやりっぱなしという気がして、とても心配です。工事中、工事後の評価のしかた、その対応策について責任をもって仕組みをつくるべきです。おねがいします。

◆回答－2

環境モニタリング調査の結果については、適宜、各委員に確認することとしています。また、工事中、工事後の評価、その対応策について、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら検討していきたいと考えております。

第5回検討会では傍聴者の方々から意見・要望を頂きました。

○意見・要望－1

渡り鳥へ特にシギ・チドリへの影響は、甚大だと心配しています。吉野川河口は、渡り鳥にとって国際的に重要な渡来地であることから春の渡り、秋の渡り、越冬状況、1年をとおしてのモニタリング調査が重要であり、事業主としてモニタリング責任を果たすべきです。市民からのデータ募集の仕組みや判断はあいまいすぎて、無責任におもえます。この最河口の橋はシギ・チドリ etc 渡り鳥、野鳥の飛翔ルート最も大きな影響を与える人工物です。春の渡りの評価は重要です。春の事前調査の回数は、秋の2回、春1回であり、調査データが貧ずぎると思います。しかも、土質調査のやぐらを設置した状態の鳥の調査はニュートラルな科学的調査と言えません。その場しのぎの設計と環境配慮、つみのこしが多すぎます。とてもとても心配です。

◆回答－1

環境モニタリング調査の鳥類調査の計画の検討にあたっては、先行事例である阿波しらさぎ大橋建設事業で実施された鳥類調査の結果や、NEXCO西日本が平成25年5月から実施している予備調査の結果を踏まえて検討してきており、これまでに委員からのご指導・助言を得ながら策定してまいりました。具体的な調査計画については、平成26年8月に開催した第4回検討会の資料

(<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0827/>)に記載しておりますのでご確認いただけたらと思います。

○意見・要望－２

渡り鳥調査について、昨年 2014 年春の調査、その前のレーダーをもちいた予備調査を実施されたものを、まとめて公開してください。おねがいします。

◆回答－２

平成 25 年 5 月に実施した鳥類調査の結果は、平成 25 年 9 月に開催した第 1 回環境部会の参考資料 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h25/0913/pdfs/03-2.pdf>) に示しております。以降に実施した予備調査のデータの公開については、委員からご指導、ご助言をいただきながら検討していきたいと考えております。

○意見・要望－３

ヘッドライトの影響について、人間の視界への配慮として（らんかん）は、ヘッドライトが外にもれてしまうのは、ないように考えていただきたい。

◆回答－３

夜間の走行車両のヘッドライトによる鳥類への影響については、平成 26 年 3 月の第 3 回検討会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0325/>) と、平成 26 年 12 月の第 4 回環境部会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/1215/>) において、議論されており、委員から「渡河橋上を走行する自動車のヘッドライトについては、シギ・チドリ類のねぐらや干潟の生息地に当たるような角度、方向ではないため、影響は考えなくてもよい。」とご意見がありました。また、今回の検討会において、高欄の形状を半壁高欄にすることで橋梁外側に光が漏れる可能性があり、その影響について環境部会で議論していく必要があると委員からご意見をいただいたところです。これについては、今後、環境部会の中で検討していきたいと考えております。

○意見・要望－４

モニタリングの調査データ、評価、工事への配慮など公開してください。

◆回答－４

環境モニタリング調査の結果については、平成 27 年 3 月に開催した第 5 回環境部会 (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h27/0224/>) で速報として公開しておりますのでご確認下さい。

環境モニタリング調査の結果を踏まえた事業の影響評価については、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら検討していきたいと考えております。

工事の配慮については、平成 26 年 1 月に開催した第 2 回検討会において、環境保全対策（原案）の「対策 2：工事中の環境保全対策」(<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0116/pdfs/2-01.pdf>) として検討してまいりました。さらに、平成 26 年 8 月に開催した第 4 回検討会において橋梁設計のコンセプトを取り決め (<http://corp.w-nexco.co.jp/newly/h26/0827/pdfs/1-03.pdf>)、今回

検討会では、工事への配慮も含めた具体的な橋梁設計を実施した結果を示したところです。あわせてご確認いただければと思います。

○意見・要望－5

1年に1回だけの検討会では少ないと思います。公開で専門家の意見をきく場は設けてください。

◆回答－5

検討会、部会の進め方については、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら検討していきたいと考えております。

○意見・要望－6

設計がとてもあいまいな状態（環境配慮）でいそぎすぎです。

◆回答－6

検討会、部会の進め方については、引き続き、委員からご指導、ご助言をいただきながら検討していきたいと考えております。
